

平成24年度

学校自己評価表（計画）

学校運営実施報告				
学校運営方針		単位制による定時制・通信制課程の利点を生かし、自己発見と自己実現を指導・支援する教育活動を実践する。この方針のもと、 ア 自他を尊重する精神を涵養し、規範意識と社会性を育む、 イ 生徒理解、進路実現へ向けて職員相互の連携を一層推進する、を全体目標とする。		
昨年度の成果と課題		年度の重点目標	具体的目標	
[成果] 多様な入学動機や学習歴を持ち、様々な問題を抱えている生徒の実態を把握し、一人一人に対し適切な指導を行った。生徒が安心して充実した学校生活を送れるよう取り組み成果を上げた。外部機関との連携と内部の連携により効果的な進路指導ができた。 [課題] 可能な限り生徒に寄り添い、単位修得率の向上と卒業生数の増加を図っていききたい。規範意識を醸成し、学校行事や部活動への参加を促し、学校生活をより良いものにしていくための指導が必要である。職業観・勤労観を育成し、社会の中で自己実現を促していくための指導の充実が必要である。	単位修得の支援体制の整備 ・基礎学力の定着	・スクーリング・報告課題の添削指導の充実。 ・スクーリング日以外の生徒への学習支援のための個人指導の充実。 ・平均単位修得率55%以上、必修科目などの1年次科目の単位修得率45%以上の達成。 ・卒業生300人以上の達成。		
	豊かな心を育む教育の充実 ・規範意識の醸成 ・自律性の育成と全体規律の維持 ・きめ細かな教育相談の充実	・学校行事への積極的な参加を促し、担任や友人との関係づくりを促す。 ・教育相談や健康教育の充実。 ・校地・校舎内における禁煙指導の実施。 ・外履き・内履きの区別の指導及び指定シューズ着用の徹底。 ・貴重品等の自己管理の指導。		
	キャリア教育の充実 ・社会人として身に付けておかなければならない諸能力の育成	・進路指導等の行事を精選充実させる。 ・適切な指導等で、生徒の興味・関心・適性を把握して、職業観・勤労観を育成し、進路目標を明確にさせる。 ・進路目標達成のための支援を図る。		
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
単位修得の支援体制の整備 （基礎学力の定着）	授業および報告課題の内容・指導方法の改善を図る。	生徒、保護者に授業や学校生活に関するアンケートを行い、その結果を改善の参考として利用する。 授業や報告課題、添削に対する生徒の意見聴取を行い、授業の内容や方法、報告課題の内容や添削方法の工夫と改善を図る。		
	生徒一人ひとりが自己の学習目標を達成し、単位修得や卒業につながるような継続的な指導をする。	受講登録時に、生徒一人ひとりの興味、関心、進路希望、卒業条件等に配慮した履修指導を行う。 スクーリング出席や報告課題提出の状況を定期的に確認し、生徒自身が自主的、計画的に学習を進めることができるように適切な学習指導を行う。 生徒一人ひとりに寄り添った指導を念頭に置きながら、単位修得率や卒業生数などの一層の向上を図る。平均単位修得率55%以上、1年次科目の単位修得率45%以上、卒業生数300人以上を目標とする。 学校行事や学校生活、学習内容などを、よりの確に生徒および保護者に知らせるため、月報の内容の充実を図る。		
	生徒の学習意欲を引き出し、基礎学力の向上を図る。	生徒が提出する報告課題に対して、きめ細かな添削指導を行い、生徒の自ら学ぶ意欲を引き出す。 学習内容の理解が不十分な生徒や質問のある生徒に対して、スクーリング以外の日においても積極的に登校することを呼びかけ、指導する。		

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
豊かな心を育む教育の充実 (規範意識の醸成、自律性の育成と全体規律の維持、きめ細かな教育相談の充実)	学校内外における生活マナーの向上を図る。	月報、生徒指導部だより（毎月報に掲載）、「学習の手引き」、掲示物等で学校内外の生活マナーの向上と交通安全意識の高揚を目指す。			
		全教員でスクーリング日の校舎内および校地内の巡回指導を行う。			
		警察等の外部機関と連携を取りながら適切な指導を行う。			
	未成年者の禁煙指導の充実に努める。	巡回による校舎内および校地内における禁煙指導を徹底する。			
		薬物乱用防止講話を実施し、保護者に対しても協力を働きかける。			
		学校行事や部活動への積極的な参加を促す。	異年齢集団の一員としての自覚を持ち、協力的な態度を育てる。部活動（加入生徒数100名以上）、運動会（参加生徒数200名以上）、文化祭（参加生徒数100名以上）、新入生歓迎会（参加生徒数25名以上）、クリスマス会（参加生徒数25名以上）、生活体験発表会等の行事に積極的に参加させることで仲間づくりを促し自主性、社会性を養う。		
	生徒理解の充実と生徒の自己実現を援助する。	部活動の在り方を見直し、適切な部を設置する。			
		生徒理解とそれに関わる校内研修（年2回）を実施し、生徒の悩みに傾聴し、受容的・共感的な姿勢で教育相談を行う。「生徒理解のためのアンケート」の実施や「中高連携シート」、「連携シート」、「生徒情報記録簿」等を利用して生徒理解に努める。			
		単位制活性化相談員、養護教諭、外部機関との連携を図りながら、さまざまな問題・悩み・困難を抱える生徒を支援する。			
		個別面談（年2回）や三者面談（随時）、「自立・就労」に向けた面談（5月以降随時）を実施し、生徒に自己理解を深めさせるとともに、生徒の自己実現を援助する。			
		さまざまな問題を抱えた生徒の保護者と、より良い連携を図るために保護者との個別懇談（年2回）、保護者情報交換会（年2回）を実施し、保護者と生徒に対する具体的な支援の方法を見つける。			
	安心、安全な学習環境を整える。	毎月「教育相談だより」を発行する。			
不審者対策指導として、校内履き（指定シューズ）着用を徹底させる。私物および貴重品等は各自の責任でしっかりと管理させる。					
校舎内外の安全点検を定期的に行い、速やかな異常の発見に努め、早期改善を図るとともに、校舎内外の清掃や美化に心がける。					
健康教育の充実を図る。	防犯教室を実施し、防犯意識を高める。				
	生徒健康診断や養護教諭と連携を密にして、集会、HR等で生徒の健康管理意識の向上に努める。				
キャリア教育の充実 (社会人として身に付けておかなければならない諸能力の育成)	入学時より卒業後の進路を考える機会を設け、より多くの生徒が卒業後の目標を設定できるように指導する。	生徒健康診断や養護教諭と連携を密にして、集会、HR等で生徒の健康管理意識の向上に努める。			
		年3回「保健だより」を発行し、または必要に応じた文書を発行する。			
		進路希望調査を行い、生徒の実態を把握する。			
		キャリアガイダンスを適時実施し、進学や就職の意義を正しく理解させる。			
	生徒の進路希望を達成させる環境を整備する。	「進路だより」を毎月発行し、進学・就職に必要な情報を生徒及び保護者に発信する。			
		進学・就職した卒業生の合格体験記を『進路の手引き』・月報等で紹介し、受験勉強・高校生活の参考になるようにする。			
		生徒一人ひとりの希望に応じた進路相談、面接指導、小論文指導等を実施する。			
		学校外での進路ガイダンスやオープンキャンパス・学校説明会・職場見学会への参加を促す。			
成果	各地域のハローワークと連携し、就職に結びつくように支援する。				
	各事業所に対して、通信制の生徒への理解を働きかける。				
			総合評価		

